

教区報

山口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 232

2024(令和6)年
1月

CONTENTS

- 年頭のご挨拶 西本浩二
- 別院帰敬式・報恩講
- 山口教区並びに本願寺山口別院
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年
慶讃法要
- 各種行事報告／案内
- 別院・教区行事予定



山口教区並びに本願寺山口別院
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要(10月21日勤修)

年頭のご挨拶



山口教区別院事務局長 山口教区別院西本願寺 番輪浩二

謹んで新春のお慶びを申しあげます。昨年は「山口教区並びに本願寺山口別院 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」という大きな法要をお勤めさせていただきました。ご参拝いただいた約1800人の皆様、出勤や出演いただいた皆様、お稚児さんやそのご家族の皆様、そしてスタッフとしてご協力いただいた皆様を含め2000人を超える方々のお陰で、盛会裏に終えさせていただくことが出来ました。尊いご縁に多くの皆様と共に思い出できたことは私にとっても素晴らしいご縁となりました。あらためて教区内の皆様には厚く御礼申し上げます。

さら、昨年5月に新型コロナウイルススも感染症第5類となり、社会活動もコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。しかし、あらためて考えてみると、連日「本日の感染者は何人」と政府やマスコミが発表しなくなつてから、社会が落ち着いてきた感じがします。ウイルスが消えたわけでもなく、感染者も日々新たに発生してはいます。発表がないだけで人々から恐怖感や切迫感が消え、安心感を得たような感じになりました。私達、人間の心というものは、かくも曖昧なものであるということでしょう。

私たちの五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)についても同じです。あの先生がおっしゃっていました。「カメラはレンズを通して、そのままを、昔はフィルムに、今はデータとしてSDカードなどに保存します。人間の目も水晶体というレンズを持ち、見たまま、そのままを私の脳に届けます。しかし、カメラと違うのは、私たちの脳はフィルムやSDカードのようにそのままを記録しません。そこにこの私の興味や欲、好きや嫌いなどという煩惱のフィルターを通して記録します。ですから、ありのまま、見たままの事実を記憶できないのです。」と。

この話は視覚についてのお話ですが、残る4つについても同じです。私たちは貪欲・瞋恚・愚痴をはじめとする多くの煩惱に覆われた自己中心的で曖昧な心や感覚の中で、真実を見ることも出来ず、また、見ようともせずこの娑婆世界を生きていかねばならない存在です。そのような、この私を阿弥陀様は「そのままにはしておけない」と一人子のように心配し、必ず真実報土に救い摂ると、今ここに御名となつてこの私に届き、その慈悲に満たされたこの私の口から、念仏の声となつてあふれ出てくださっているのです。本年も引き続き、山口教区教化活動推進、本願寺山口別院護持に、ご指導ご高配賜りますようお願い申し上げます。新年にあつたつてのご挨拶とさせていただきます。

南無阿弥陀仏

本願寺山口別院帰敬式

11月25日(土)

本願寺山口別院報恩講を機縁に帰敬式が執り行われ、厳粛な雰囲気の中、なか121名が受式されました。

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓う、私たちにとつて大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となつた方には本願寺ご住職(ご門主)より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましよう。



御手代 日下智城 氏



本願寺山口別院報恩講

11月26日(日)～28日(火)



伝供



葛野洋明氏



親鸞聖人尊像披露式典



御伝鈔拝読

この度の本願寺山口別院報恩講は、3年ぶりに日中法要と速夜法要を3日間勤め、葛野洋明氏(大阪教区)によりお取次いただきました。法要にあたり、豊田組・山口北組・小月組の皆様によるご奉仕のもと3日間で約660名の参拝がありました。

また、法要初日には、親鸞聖人尊像を披露する式典を挙行了しました。

2023(令和5)年 報恩講法要各組結衆・列衆出勤者一覽

11月26日(日)	柳井組	岡本隆有	岩国北組	小川克彦	廣兼知信
	熊毛中組	月林賢昭 永井貴志子	熊濃組	宗本信爾	瀧本乗俊
	山口南組	寶城俊成 南 昌宏	周南組	赤松泰城	
	美祢西組	河野悠玄	宇部小野田組	児玉正史	
	豊田組	藤永浄雄	大津西組	長岡裕之	
11月27日(月)	山口北組	能摐一哉	豊浦西組	片山敬済	谷 仁雄
	萩組	桃林 信	防府組	渥美 光	岩城大行
	大津東組	坪井隆範	須佐組	一万田則行	安間大哲
	邦西組	金子宏道 藪木暁見	白滝組	工藤顕樹	
		中山則昭 平石博樹	下関組	高橋 了	宗岡義博
11月28日(火)	大島組		熊南組	秋山俊彦	田中博明
	華松組	栞原真洋	厚狭西組	布田晃一	松本隆宏
	宇部北組	安部隆爾	美祢東組	有馬才雄	山名真達
	阿武組	市川幸佛 藤永公然	小月組	鹿島哲之	山本 聡
	豊浦組	須山優樹		金尾義崇	立花唯信
	金出俊行 津原淳志				



浄土真宗本願寺派
山口教区
本願寺山口別院

親鸞聖人御誕生 850 年 慶讃法要
立教開宗 800 年

ご縁を慶び、お念仏とともに

● 10月21日、新山口駅に隣接のKDDI維新ホールを会場として、参拝者及び法要出勤者やスタッフなど総勢約2000名による山口教区並びに本願寺山口別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が勤修されました。

当日は、法要に先立ち稚児行列が行われ、鮮やかな衣装を身にまとい化粧をした子どもたち53名と法要の導師並びに諸役が行列をつくり、新山口駅南口から会場のメインホールまで練り歩いて法要をお迎えしました。

この度の法要は、特に女性僧侶や若い僧侶の方々にもご縁にお出遇いをしていただきたという思いから、事前に教区内に出勤の呼びかけをしたところ、結果と列衆の合計63名もの僧侶に参集をいただき、西本浩二山口教区教務所長・本願寺山口別院輪番の導師のもと「新制御本典作法」をお勤めしました。

また、法要中の行道では列衆が客席の参拝者を囲み、本願寺山口別院をデザインした華葩を散華するという場面もありました。

法要に続き、記念法話では四州教区 今治組 太平洋寺より慶讃法要の特命布教使 深水健司 氏をお招きし、「ご開山聖人ご出世のご恩」の講題でお取次をいただきました。

午後は、山口雅楽会と二胡奏者の姜 暁艶（ジャン ショウイエン）氏、サンドアート集団 SLT による慶讃法要記念コンサート、親鸞聖人の歩み 光と影が5幕の構成で催され、第1幕と第2幕では古くから深





舞台から観客席側の通路を進む行道

い関わりを持つていた「仏教と雅楽」が日本まで伝わってきた道のりを表す内容、第3幕ではサンドアートで親鸞聖人のご生涯を描きながら二胡と雅楽・声明でその背景を彩る内容、第4幕と第5幕では現在から未来へと、次世代へ広がるお念仏の慶びを表現する内容で、日本古来の音楽である雅楽と中国の伝統的な楽器の二胡、そして視覚に訴えかけるサンドアートが見事に共演し、コンサートの最後に山口仏教音楽連盟の皆さんによるコーラスも加わり法要の幕を閉じました。

このご法要にあたっては、教区法要委員会を2020(令和2)年度に立ち上げて以来、途中、新型コロナウイルス感染症といった厳しい状況下でもありましたが、同委員会の法要・行事・広報・記念品企画の各部会関係者が幾度となく集まり企画や準備を進められました。
また、法要をお迎えするにあたっては、出勤を予定しているご法中を対象とする習礼が実施され、法要の約1ヶ月前の9月27日(水)には、KDDI維新ホールで法要当日の出勤者と山口雅楽会をはじめとする慶讃



法要「新制御本伝作法」

法要記念コンサート出演者による本番さながらのリハーサルが行われ、法要前日の会場準備から当日にかけては受付、参拝者の案内と誘導、稚児行列に参加する子どもたちの衣装替え、そして昼食の配布など門徒推進員、門徒総代会、仏教壮年会、仏教婦人会の方々もスタッフとして協力してくださるなど、多くの方々のお力によって勤めることができたご法要であり、あらためてご協力くださったすべての皆様に感謝申し上げます。



慶讃法要記念コンサート



サンドアート



特命布教使 深水健司氏

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

寺族婦人研修会

10月3日(火)

本年度、山口教区並びに本願寺山口別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えするにあたり、寺族婦人会連盟で記念事業の一つとして、落雁で法要当日のお飾りのためのお供物を作らせていただきました。福岡県にあります楽心堂本舗さんは、落雁で作られたお供物を販売されており、このお供物作りを実際に行うワークショップも開催されています。このワークショップを当連盟で行い、本堂内陣荘厳用(高さ45cm・直径12cm)二対とお内仏用(高さ15cm・直径6cm)のお供物をご参加の皆様それぞれに作っていただきました。

当日は教区内より100名のご参加をいただきました。楽心堂本舗さんは、このワークショップを各地で開催されていますが、これほど多くの方が参加されたのは初めてのことであったようです。ご参加の方も初めて作業される方が多く、出来るのかがどうか不安な方もいらっしゃいましたが、楽心堂スタッフの方が丁寧に指導くださり綺麗に作りあげることができました。

このお供物は、慶讃法要後も、本願寺山口別院の法要でお供えいたしますので、お参りされた際にご覧いただきたいと思いません。

ご参加の皆様より、ご自身で作られたお供物でお荘厳させていただき喜びの声を多くいただきました。お荘厳は阿弥陀さまを敬い大切に思う心の表れでありますこと、あらためて味わうご縁となりました。



清岡隆文氏 法話会

11月6日(月)

11月6日、山口別院本堂で大阪教区より龍谷大学教授などを歴任された清岡隆文氏をお招きして法話会を開催しました。

参加者の中には、清岡先生が山口教区で中央仏教学院通信教育講師をされた関係の生徒らもおられ、多数のお参りがありました。今回の目的は「基本に立ち返って聞法するご縁を大切にしよう」と、ご遠方で若朋会としてなかなかお招きできない先生の法話会にしました。

親鸞聖人の名著『教行信証』の総序のお言葉「ああ、弘誓の強縁、多生にも値ひがたく、真実の浄信、億劫にも獲がたし。たまたま行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ」の御讃題を通して、「お念仏の縁」を温かくお聴聞させていただきました。

仏法を聞く、聞法はよろこびであると味わわせていただくご縁となりました。

また、今回お取次をいただいた清岡隆文氏のご著書もぜひご覧ください。著書に「大悲心を学ぶ」(本願寺出版社)、「法雨つれづれ」(百華苑)などがあります。



親鸞聖人尊像建立

このたび、本願寺山口別院の本堂前に白鳥文明氏（大島組 莊厳寺前住職）の制作による親鸞聖人尊像をお迎えし、11月8日に関係者参集のもと除幕式を挙行しました。また、教区内の皆様へは本願寺山口別院報恩講の初日である11月26日にあらためて披露の式典を執り行いました。

尊像の建立にあたっては、今年が親鸞聖人御誕生850年、翌年が立教開宗800年の節目となることから、赤松 泰城 組長会長・藤山正則 長岡裕之 副会長を発起人、八木 静也 教区会議長・岡本 幸 副議長が賛同者となられ、本願寺山口別院の境内地内に親鸞聖人尊像建立の呼びかけをしていただきました。

この呼びかけに対し、教区内の多数の方々よりご協賛をいただき、尊像を建立する運びとなりました。

なお、尊像は本願寺山口別



院にしかないお姿にしたいというところから、多くの尊像が笠をかぶっておられるお姿なのに対し、あえて傘をなくすことでお顔の表情がわかりやすい、そして別院に参拝される方々をお迎えし、語りかけておられるようなお姿をイメージして制作されました。最後に、尊像の建立について、ご協賛をくださいました皆様にあらためて御礼申し上げます。

令和6年能登半島地震募金に関するお知らせ

令和6年能登半島地震により被災された皆様に
衷心よりお見舞い申し上げます。

- ・浄土真宗本願寺派「たすけあい運動募金」より義援金の窓口が開設されました。
※送金先等の詳細につきましては、宗派サイトよりご確認ください。
- ・本願寺山口別院におきましても、別院窓口におきまして上記義援金及び被災された方々へのボランティア活動等に活用させていただくための支援金の受け付けを行っております。
※支援金につきましては、石川教区をはじめとする被災教区へ直接送金させていただきます。

支援金のご送金につきましては、下記口座のご利用が可能です。

教区郵便振替口座 01590-3-26575（山口教区教務所教化団体）

※郵便払込でご送金の際は、払込取扱票に、「能登半島地震支援金」とご記入ください。

本願寺山口別院フォトコンテスト入選作品発表

～ 仏縁・誕生と慶び ～

たくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。



慶讃法要賞 山名真達氏
「入学の奉告」



山口教区教務所長賞 百濟高昌氏
「団欒」



法要委員長賞 岩原俊一氏
「繋ぐ音」



実践運動広報部賞 中塚裕子氏
「晴舞台」



実践運動広報部賞 溪 英俊氏
「出番を終えて」



投票と法要当日のフォトコンテストの様子



10月21日の慶讃法要の際に本願寺山口別院フォトコンテストを実施し、多数のご応募をいただきました。
参拝者の投票により選考した、入選作品を発表します。

本願寺山口別院

2024(令和6)年 恒例法要・常例法座

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン
結ぶ絆から、広がるご縁へ
- From tying bonds to great encounters -



永代経法要

6月8日(土) 9日(日) 10日(月)

◆午前10時～ ◆午後1時30分～

福岡教区 早良組 徳常寺

紫藤 常昭氏

報恩講

11月25日(月) ◆午後1時20分～
帰敬式

26日(火) 27日(水) 28日(木)

◆午前10時～ ◆午後1時30分～

安芸教区 呉東組 真光寺

寺西 龍象氏

1月5日(金)
午前10時～

元旦会

本願寺 山口別院 輪番

5月5日(日)
午後1時30分～

降誕会

周南組(周南市)松巖寺
溪 宏道氏

常例法座 毎月5日・午後1時30分～

2月5日(月)

厚狭西組(下関市)常元寺

伯 浄教氏

3月5日(火)

山口南組(山口市)蓮光寺

岡本 達美氏

4月5日(金)

熊南組(上関町)善徳寺

石山 泰人氏

6月5日(水)

白滝組(下関市)念西寺

中山 浩司氏

7月5日(金)

周南組(周南市)宝性寺

御園生宣尚氏

8月5日(月)

下松組(下松市)勝賢寺

森田 義見氏

9月5日(木)

美祇東組(美祇市)明厳寺

中島 昭念氏

10月5日(土)

豊浦組(下関市)蓮乗寺

金海 明弘氏

11月5日(火)

美祇西組(美祇市)寂定寺

柏 宗桜氏

12月5日(木)

美祇東組(美祇市)正岸寺

桑羽 隆慈氏

〒754-0022 山口県山口市小郡花園町3番7号 TEL 083-973-4111

山口別院テレホン法話 TEL 083-973-0111 3分間の法話が聞けます <http://www.yamaguchibetsuin.net> 本願寺山口別院

別院・教区行事

1月

5日(金)	別院元旦会	山口別院
10日(水)	講師/本願寺山口別院 輪番	山口別院
12日(金)	第4回山口教区賦課基準等検討委員会	山口別院
26日(金)	第3回山口教区寺院振興対策委員会	山口別院
27日(土)	第3回まことの保育研修会	山口別院
28日(日)	講師/井上見淳氏(龍谷大学准教授・福岡教区正恩寺)	山口別院
31日(水)	第18回ビハークラ全国集会	本願寺
	第4連区御同朋の社会をめざす運動(実践運動)協議会	山口別院

2月

5日(月)	別院常例法座	山口別院
6日(火)	講師/伯浄教氏(厚狭西組常元寺)	山口別院
7日(水)	山口みのり会結成40周年記念のつどい	山口別院
8日(木)	講師/桑羽隆慈氏(美祢東組正岸寺)	山口別院
8日(木)	矯正教化広島管区支部研修会	備後教区
8日(木)	講師/金島智之氏(岡山事務所福祉専門官)	山口別院
8日(木)	寺院サポート研修会	山口別院
13日(火)	講師/大神裕司氏(税理士法人ゆびすい)	山口別院
14日(水)	山口教区布教団研修旅行	東北教区
15日(木)	山口教区布教団研修旅行	山口別院
17日(土)	第2回 山口教区得度講習会	山口別院
18日(日)	講師/賀陽 寛氏(山口教区勤式指導員)	山口別院
19日(月)	第2回 山口教区得度考査	山口別院
21日(水)	ビハークラ山口 いのちをみつめる研修会	山口別院
24日(土)	講師/徳永道隆氏(安芸教区延命寺)	山口別院
26日(月)	第3回 山口教区得度考査	山口別院
	布教団総会・研修会	山口別院
	講師/深川宣暢氏(大津東組西念寺)	山口別院

3月

2日(土)	第49回 山口教区仏教壮年大会	山口別院
	講師/大松龍昭氏(熊本教区大法寺)・木橋奏子氏(ピアニスト)	山口別院

慶弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します

令和5年10月〜12月

敬称略

邦西組	西慶寺 衆徒	
松田 節子(97)	10月24日	
大津東組	宗善寺 前坊守	
藪木 彌生(90)	10月26日	
玖珂西組	専称寺 前々坊守	
和田 章(98)	10月27日	
熊毛組	妙福寺 前坊守	
繁田ヨシカ(97)	11月16日	
美祢西組	専正寺 前住職	
伊藤 文友(90)	12月4日	
防府組	西法寺 前住職	
五十香正英(91)	12月21日	
美祢東組	明楽寺 前住職	
秋里 勝道(87)	12月27日	

5日(火)	別院常例法座	山口別院
	講師/岡本達美氏(山口南組蓮光寺)	山口別院
11日(月)	長崎教区少年連盟との交流会	長崎教区
12日(火)	離郷門信徒のつどい	築地本願寺
23日(土)		

編集後記

20215と猿の表紙の20221の編集後記を覚えていますか？あれからうさぎの【なむちゃん】は4歳になり身体も大きくなりました。今は外で飼っていたチャボの【スイーツ】と一緒に仲良く室内で暮らしています。そして同じ家で生活しておられる中島昭念先生も88歳になりました。まだまだ元気いっぱいでお念仏申す日暮らしを送っています。共に念仏の声溢れる一年にしていきたいです。

価格 1500円(税込)

本願寺山口別院・山口教区教務所

〒754-0103 山口県山口市小郡花園町三番七号 TEL 083(973)4111 FAX 083(973)4631